

支部紹介

日高支部



支部長挨拶

北海道薬剤師会日高支部長の中村亨一でございます。

日高支部は18ある支部組織の一つであり、その範囲は日高振興局管内と同じです。面積は4,812 km²で、これは和歌山県や福岡県に匹敵する広さであり、そこに約63,000人の住民が生活しています。会員は9月15日現在69名、35薬局、3病院他に所属する薬剤師で活動しております。

地域の8割が森林で、市街地は沙流川流域及び太平洋沿岸部に一列に並んでおり、その距離は日高町日高地区からえりも町えりも岬まで約200kmに及びます。したがって支部会員が一堂に会して行う行事は定期総会と親睦研修会に限られてはおりますが、逆に皆さん待ちわびている分、参加率は毎回高く和気あいあいと会員相互の交流を楽しんでおります。一人一人が顔の見えるいい支部をめざしております。

北海道にあっても気候は温暖で、特に積雪が少なく、サラブレッドの生育に適していることから、全国のサラブレッド生産牧場の6割強が、日高地方に集中しており、一歩郊外に出かけると、ゆっ

たりと草をはむ繁殖牝馬の姿を目にすることができます。「馬が好きだから」という理由で、日高にやってくる薬剤師もたまにいます。近年ではゲーム、アニメのヒットで有名な「ウマ娘プリティーダービー」のブームが起きており日高を訪れる観光客が増えております。街なかや温泉、道の駅などでは往年の名馬の名前を呼ぶ小さなお子さんの微笑ましい姿を見ることがあります。

日高地方は道内においてもなかなか訪れる機会の少ない地域ではないかと思いますが、このあとご紹介の温泉やグルメなどをご堪能いただければと思います。ぜひお越しください。

(支部長 中村)

支部活動と年間計画

日高支部では地方でも出来ることをやっていくように考え、早い時期から支部の研修会実施機関の資格を取り、当初は毎週のように研修会を行なっていた時期もありました。現在では不定期ながら、都市圏に行かずとも多くの会員の方たちが認定単位を取れるよう、Web研修会も含めて開催するようにしています。

麻薬の小売業者間譲渡許可も制度が出来た早期に申請を行い、地域の患者様に不利益とならないよう、現在も申請は続いています。

病院薬剤師会との合同研修会や、宿泊親睦研修会も定期的に開催して、交流を深めながら研鑽しています。

コロナワクチンの集団接種では、町からの依頼を受け、薬剤師会からも協力し、医療関係者の一員として活躍しました。

またコロナ流行で出来なかった時期もあります



多職種連携研修会



コロナワクチン調製



令和5年度総会懇親会



日高健康フェア(2019)

が、毎年11月に薬剤師会主催の健康フェアを開催し、健康測定機器や、お薬相談、医療関係者や薬剤師会からの講話などの内容で会員協力のもと、多くの町民に集まっていたいただき、有意義な催しとなっています。

薬と健康の週間には、毎年薬剤師会からの新聞折り込みを作成し、薬剤師会からのお知らせや「ダメ、ゼッタイ」などの薬物乱用防止について案内しています。

(副支部長 二反田)

今北海道薬剤師会はどういう方向性にあるのか、どのような事業が行われているのかを的確に伝達し、その人に必要な事業は何なのか考え、悩み事の多いIT関係のサポートできる仕組みがあれば良いなと思っております。

最後に、昔から言われております日高支部の絆の強さは伝統として残して行きたい物でありますし、それが最終的には様々な問題の解決策になると思っております。

(副支部長 吉津)

日高支部の今後の展望

どこの支部でも同じだとは思いますが、全体的な会員数の減少はもちろん、特に開業薬剤師の減少は顕著になっております。これからは、A会員、B会員、病院薬剤師、更には非会員薬剤師まで含めた、老若男女、垣根をこえた全ての薬剤師が、同じ立場で共同して活動して行けることが理想的だと思っております。そのためには行事などの度に多くの会員に声掛けをして、参加しやすい雰囲気作りをし、会費の面でも病院薬剤師の方や非開業の薬剤師の方が入会しやすい価格設定に出来ないものかと思っております。

時代と共に薬剤師に求められる業務も物凄く変化しております。これからは特に地域支援体制加算の算定要件にあるように在宅医療や多職種連携に、もっと力を入れて行かなければなりません。それらの業務がスムーズに行えるような様々な研修会や、多職種との交流の機会などが作ればと思っております。

一方ではOTC中心の昔から頑張っておられる大先輩方や、一人薬剤師で日々奮闘しておられる開業の先生方も多数おられます。それらの方々に、

病薬との連携、交流事業等

当支部と病院薬剤師会の双方に所属している会員もおり、薬局勤務薬剤師と病院勤務薬剤師を相互に理事にお迎えしています。

年1回の合同開催の研修会をはじめ、両会の研修会、忘年会、新年会で交流を深め、残薬調整など薬・薬連携がスムーズに進められる関係です。

(副支部長 今井)

ナナイロひだか

●おすすめの地元温泉

日高支部はご存じの通り、森進一が歌うえりも岬を起点に西に広がるように位置し、7つの町で構成される別名「ナナイロひだか」とも言われ自然の恵みがいっぱいの地域です。

「えりもの春は何もない春」と歌にあるわりには、7町全てに温泉をはじめとした入浴施設があるのは自慢です。温泉のはしごなんて面白いのではありませんでしょうか。

・平取町 「びらとり温泉 ゆから」

無色透明強塩泉。体を芯まで温めてくれます。



(びらとり温泉 ゆから)
ウマ娘：ダイタクヘリオス



(うらかわ優駿ブレジアエル アエルの湯) ウマ娘：ウイニングチケット



(新冠)らーめん喜一郎

温泉施設で、びらとり和牛を味わえ、しかも和牛のメニューが多い。肉三昧をリーズナブルで味わえます。

- ・日高町門別 「門別温泉 とねっこの湯」
お湯はナトリウム塩化物泉。かけ流しの天然温泉 裏にはドックランあり。さらに道営競馬が楽しめる門別競馬場があります。
- ・新冠町 「新冠温泉 レ・コードの湯」
小高い丘にたち判官館と太平洋を望む雄大な眺めの天然温泉。温泉の入口付近にはオータムフェストにも参加していた「らーめん喜一郎」さらに移転したほろしり乗馬クラブが隣接しトレッキングが楽しめます。
- ・新ひだか町静内 「静内温泉」
天然温泉でありお湯は炭酸水素塩酸で女性にうれしい美肌作用あり
- ・新ひだか町三石 「みついし昆布温泉 蔵三」
道の駅みついしに隣接した日高山脈、太平洋が一望できる温泉

- ・浦河町 「うらかわ優駿ブレジアエル アエルの湯」
ジェット浴槽にブラックシリカをいれて提供。宿泊施設としてみた方が楽しめます。初心者でも楽しめる乗馬トレッキングができます。
- ・様似町 「ホテルアポイ山荘 アポイの湯」
アポイ岳がそびえる高台のある場所にある温泉。お湯は炭酸カルシウムが主成分でミネラル豊富な長万部二股ラジウム温泉の湯の華が入っています。
- ・えりも町 「田中旅館 トロン温泉」
純天然トロン温泉であり、日帰り入浴ができます。お刺身、春ウニ、カニといったとれたて新鮮な海鮮メニューが魅力的。また、太平洋に沈む夕陽を大変美しく眺められるロケーション抜群な温泉。



門別温泉 とねっこの湯



みついし昆布温泉 蔵三



浦河の優駿桜ロード



日高育成牧場



N邸



騎馬参拝するB・B

●春に美味しい食べ物とお待ちしています。

日高は全国有数の馬産地であり、競走馬の8割が日高産。

そのサラブレッドの出産シーズンは春。二十間道路の桜並木をドライブすると、たくさんのかわいい仔馬に出会えるかも。

また、道路に桜のトンネルが出来ているのは浦河の優駿桜ロード。

隣接する2つの町の桜並木を半日で満喫できるのでとても格別。

ひだかにいる私たちでさえ、太平洋の沿岸の国道は海や仔馬、桜を見ながらのドライブは心がはずみます。

馬が好きな人にとって、日高はまた格別かもしれません。現に、日高に移住し乗馬用の馬を飼いながら薬剤師をしているN先生。休日には乗馬を楽しんでいるそう。

20年前、競走馬のバンブーメモリーを追いかけて日高にやってきてバンブーメモリーの世話をしていた方と結婚されたK先生。

現役競走馬を生産する牧場で生活しながら、保険薬局で働いている薬剤師も何名かおられます。

なので、週末のJRAレース観戦では競馬新聞の見方も違います。まず、日高の生産牧場を確認し、それから予想に移る。(これは私だけかもしれませんが 担当M)

昔、静内にJRAの場外馬券場があった時には静内馬券場独自のオッズがあり、客あたり購入代金が日本一になったこともあるとか。

もちろん、目の肥えた競馬関係者が多いのでその的中率も高く、JRAの現金輸送車が毎週補充に通ってきていたと聞いたことがあります。

馬を買うだけではなく、馬に乗る人もいます。静内に移住してから静内 まうたの乗馬施設ライディングヒルズで乗馬を楽しむ薬剤師もおられます。

町営なので料金もリーズナブル。

●日高はもちろん食べ物もおいしい

- ・平取には仁世宇園という「つりと山女料理が楽しめる自然満喫ができる体験型」の施設があります。100円で竿が借りられやまめつり。その魚を刺身や焼き魚。唐揚げなどに料理してくれます。隣接する場所にキャンプ場もあり家族で楽しめます。

「びらとり和牛」が食べられるお店としておすすめなのが「じゃんけんぼん」

和牛100%のハンバーグにステーキ。平取は桃太郎トマトで有名ですが、その地元の野菜をふんだんに使っているピザもおすすめ。

- ・新冠には、生クリームのような味わいのホロシリ牛乳があります。チーズなどの乳製品もたまらないおいしさ。

また新冠はピーマンの産地なので、ピーマンソフトクリームが道の駅で販売されています。旧JR新冠駅の近くには、まぼろしと言われる八文字そばがあります、そばがなくなったら営業終了。平日のみの営業。

「行きたくてもいけない。1度でいい。食べたいの。」という現役ナースからの情報。

- ・静内では木下菓子店。お餅専門店です。冷凍のお餅もありますが、おすすめはよもぎ餅。よもぎのさわやかな香りと手作りあんこがたまらない。旨いといしか言えません。

- ・静内駅の立ち食いソバもまた有名。列車が廃線となった駅ですが、安くて早くてうまいのが人気。



(平取)びらとり和牛



(三石)金城軒の看板



(様似)女郎花 うに・つぶ・イクラ三色丼

- ・三石では八木羊羹が三石羊羹として有名ですが、その向かいにある大野菓子舗「三石昆布羊羹」もうまい。なんと羊羹に昆布が入っていてほんのり緑色。そうそう、松屋菓子店の「昆布もなか」も忘れてはいけません。30年続く老舗の最中。一度食べたら忘れられません。
- ・みついし昆布株式会社の昆布ソフトクリームもありました。香ばしい焼き昆布がスプーン代わりについてきます。ぱりぱりとした焼き昆布の食感がたまらない。ソフトクリームもうまみがありとても美味。
- ・三石には海産物の製造所もあり、その名も「金城軒」。不定期な営業日。工場なので一見お店には見えません。珍味や海産物を製造している工場だけあって価格はリーズナブル。これが名古屋の本社やお店の店頭と並ぶと息が止まるほど高くなるんでしょうね。おすすめは「つぶ貝わさび」つぶがぎっしりと入っており、酒が進

- むこと間違いなし。
- ・浦河は道内でもインド人が多い町。彼らは競走馬の育成牧場で働いている人がほとんど。彼らの舌をいやすのは「BHARAT RESTAURANT バハラット レストラン」20種類のスパイスを調合した本場のインドカレーを堪能できます。ランチも訪れるところは異国の地か思うほど、いたるところでヒンディー語がとびかっています。インドのお菓子、スパイスも購入できます。
- ・様似でのおすすめは海鮮系を中心とした和食店「女郎花」日高、様似産のツブ料理が自慢。新鮮な海の幸がいっぱいなので、その時の旬な丼ぶりものや定食がおすすめ。また、アポイ岳ジオパークがあり、貴重な高山植物も見ることができます。12月31日深夜からアポイ岳に登りだし、毎年ご来光を拝む登山愛好者も日高薬剤師会の会員に



アポイ岳



(えりも)いさみ寿司

えりも短角牛



日高山脈野塚岳



ひだか高原荘



みついし港まつり

います。ご利益がありそうです。

- えりもの魚は違う。ひだかに住んでいる私でさえそのうまさに驚き。なんでも潮の流れが岬で違うので身のしまった魚になるらしい。そんなお魚を味わえるのが「いさみ寿司」きどらないお寿司。大きいネタ。てまひまかけるオードブル。最近は冷凍食品を使うお店が多いなか、これも手作りでしょという品物がほとんど。リーピーターになること間違いなし。
- えりもには短角牛のお店もありました。「守人 まぶりっと」牧場の中にポツンとあるお店。大きな窓があつて景色も抜群。短角牛専門店ですがその肉は赤身が自慢。低脂肪でカロリー控えめ。食べるとさらっとしていてあと味がよい。コロッケやソーセージもあるとか。

そんな日高地方を一言で表すなら雄大な山と海と丘…そしてサラブレッド

そんな自然いっぱいの環境で薬剤師として働く。さらに支部会員のまとまりは最高です。

そして2024年には日高山脈えりも国立公園も誕生し、我々も楽しみにしております。

ぜひ一度日高に足をふみいれてはいかがでしょうか。
(理事 三好、奈良)

支部連絡先

北海道薬剤師会日高支部(日高薬剤師会)

〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町115-1

株中村薬局みついし調剤内

電話 0146-32-3558 FAX 0146-33-2318

メールアドレス info-hidakayaku@ra9.jp

ホームページ <https://www.hidakayaku.jp/>